

子育て支援や女性活躍

水清建設とオーツーツー 岩手労働局から認定証

「くるみん」と「えるぼし」の認定通知書
交付式



岡市、小野寺年也社長）で、県内建設業では初の認定。岩手労働局の永田有局長から、両社の担当者に認定証が交付された。

交付式では、永田局長から水清建設の瀧恵子総務部経理課長、オーツーツーの松尾和久総務部営業業務課長に認定通知書が交付された。

くるみん2回目の認定となった水清建設は、従業員一人ひとりに合わせた働きやすい職場づくりを目指し、男性も育児制度が利用できることなどを社員に定期的に周知。また

インターシップの受け入れやイベントへの社員派遣など、地域貢献活動も積極的に実施している。

2段階目のえるぼし認定となるオーツーツーは、2級建築士の資格を有する女性を部長に登用するなど、仕事と育児の両立を図りながらキャリアアップできる体制が整えられている。

水清建設の瀧課長は、「共稼ぎ世代が多いこともあり、育児休暇への理解が浸透してきた。このまま子育て世代が仕事を続けていくことで、働きやすい職

場づくりへ向けた取り組みをさらに進めることができる」とし、地域貢献活動により「地域の人々とのつながりが強まった。それにより社員の仕事の幅も広がってきた」と述べた。

オーツーツーの松尾課長は、「女性の多い職場でもあり、長く勤めてもらうために5年ほど前から改善に取り組んできた。残業の削減も進めたことで、社員全体が効率的に業務に取り組む体制ができた」と効果を語った。

永田局長は、「建設業に占める女性管理職の割合は他の業種に比べ

低い。女性を継続して雇用できる体制を整えることで、管理職も増える」と述べた。

両社の取り組み

「くるみん」と「えるぼし」の認定通知書交付式が行われた。認定企業は、くるみんが株

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

水清建設（本社・矢巾町、水本孝社長）で県内建設業では初の2回目の認定。えるぼしは

子育て支援（くるみん）と女性活躍（えるぼし）の認定通知書交付式